

令和2年度 三刀屋高等学校(年間評価と今後の改善策)

4段階評価

A:十分に達成できている状況

C:どちらかといえば達成できていない状況

B:概ね達成できている状況

D:ほとんど達成できていない状況

今年度重点目標		自己評価			概要と今後の改善策	評価	学校関係者評価
		R2 肯定的回答の平均 (%)	R元 肯定的回答の平均 (%)	評価			
1 授業の充実	(1)「三高トライアングル学習」の強化 (2)新課程を見据えた教材研究・授業改善 (3)試験問題や評価の工夫	80.0	71.7	B	<p>■授業改善に対する評価、授業と家庭学習の連携について、いずれも生徒・保護者評価は昨年よりわずかに上昇した。教員がわかりやすい授業を心がけ、それを生徒が理解していると思われる。授業と家庭学習の連携が一層図れるよう、例年実施している「公開授業」、「学習時間記録」、「授業評価」等の実践をより具体的なものに改善したい。また、多様な学力・進路希望を有する生徒を指導する上での仕掛けを教科主任会・教科会・学年部と連携しながら考えていきたい。特にClassiやICT機器の利用方法等も積極的に考え、全教員で取り組める策を模索していきたい。</p>	B	<p>■コロナ禍ではあったが、出席率があまり下がってなくてよかった。成績についてもよく対応していると思う。 ■ICT機器の利用は、コロナが終息しても将来的にオンライン授業もできるようなしていかないといけない。 ■『スマホ脳』という本があるが、今の子どもたちは手で書くということが少ない。ICTを使用しても学力向上につながるかどうか考えていく必要がある。</p>
2 キャリア教育の推進	(1)3年間の見通しとねらいの明確化、振り返り (2)地域資源の活用、多様な文化や価値観との出会い (3)教科学習、進路実現との連携	76.1	78.9	B	<p>■生徒評価の「模試の活用」、保護者評価の「進路情報」に関する評価が低くなっている。一方、生徒評価のうち「進路について考える」の部分の自己評価が高い数値になっている。個々の生徒が進路について考えられるようサポートができていていると考える。模試の活用については、教職員評価にも表れているようにやりっぱなし、渡しっぱなしになっている現状もある。模試への取組、結果の伝え方を考えていきたい。また、保護者へ十分な情報が伝わっていないことについてはClassiや資料配付会(保護者版)などの実施、また土曜講座を活用して進路講演会の開催などを検討したい。</p> <p>■「キャリア教育」について、生徒評価は概ね良好である一方、教員評価は昨年度より低くなっている。指導する側の情報共有を密にして指導に一体感を持たせる必要があると考える。本年度のキャリア会の反省を踏まえ、次年度は指導に当たる教員等全員で授業に関する情報の共有の場を設け、三刀屋高校総合学科の特色である「産業社会と人間」(1年生)及び「総合的な探究の時間」(2年生)の指導を充実させたい。</p>	B	<p>■模試の活用について説明があったが、「やりっ放し」にならないようにしてほしい。</p> <p>■キャリア教育について、もう少し世界を見てSDGsの視点から“どんな世界を目指していくべきか”を考えることも大切である。</p>
3 部活動等の活性化	(1)学習と部活動の相乗効果 (2)生徒会や生徒会の活動の推進 (3)異校種や他校との交流、魅力の発信	91.0	87.4	A	<p>■部活動についての評価は教員、生徒、保護者とも高く、日頃の活動の成果の表れであると思われる。</p> <p>■生徒会活動が制限された中、生徒は学級での活動や生徒会や学園祭運営を積極的に行い、生徒評価も昨年より高い数値になった。今後も積極的な活動を推進していきたい。</p> <p>■大雪の際には、多くの部活動が積極的に市内各所に出かけて除雪作業等のボランティア活動を行い、校外の皆様から感謝の言葉をいただいた。</p>	A	<p>■第2回学校評議員会において、野球部や「アオハル」プロジェクトなどの明るい希望に満ちた生徒の声を聞いてよかった。 ■生徒の皆さんはボランティア活動もよくやってくれている。冬季の除雪作業等に対しては地域の皆さんから感謝の言葉をいただいている。 ■来年度の志願状況について、総合学科の強み・よさを、生徒・保護者また全国に伝えるようにしてほしい。</p>
4 安心・安全な学びの環境づくり	(1)人権尊重と言葉への意識 (2)生徒理解と組織的な支援 (3)教育環境・生活環境・職場環境の整備と快適化	90.8	86.2	A	<p>■「自他の生命や人権を尊重する態度の育成」について、生徒評価、保護者評価と比較し教職員評価が低かった。理由としては、今年度新たな取組がなかったことやHR活動や朝礼時の取組について、学年会との打合せが遅かったり、足りなかったことが考えられる。また、生徒や保護者から、教職員の人権感覚に関わるような意見もあった。今後は、HR活動や朝礼時の取組については早め早めの準備と対応を心がけたい。また、生徒や保護者啓発のため、コラムの発行回数を増やしたい。教職員の人権感覚を高めるための研修は、校内の具体的な問題を取り上げ、集団で話し合う形式で実施したい。</p> <p>■いじめ防止について、生徒評価、保護者評価とも全体的には昨年並みであったが、生徒評価の3年生での「やや不十分である」「不十分である」との回答数が他学年より多かった。いじめの防止、早期対応についてはいじめアンケート以外からの情報の収集(面談、クラスでの様子)などを学年会等で共有し、生徒指導部、対策委員会へと速やかに連携していきたい。</p> <p>■個別の教育的ニーズを必要とする生徒への支援については、出雲養護学校雲南分教室のセンター的機能等の外部の専門家の支援を得ることができた。来年度は特別支援教育の校内研修を行い、担任ばかりでなく他の教員も生徒の特性の理解や支援について連携してできるようにしていく。制服や校則の見直しについては生徒指導部、職員会議等でしっかりと話し合いを進めていきたいと思う。</p> <p>■新型コロナウイルス感染防止については、教職員評価及び保護者評価で比較的低い数値となっている。生徒のマスクの着用が徹底していない状況を反映したものであると思われる。感染防止のために不可欠な予防行動であるので、重大に受け止めたい。環境衛生活動については概ね高い評価をいただいた。日常の清掃活動に加え、業務アシスタントの配置により、廊下や階段などの細かいところまで行き届くようになった。今後は、新型コロナウイルス感染防止のためマスク着用をより強く推進したい。毎日朝礼時のチェックやマスクの貸し出し、啓発掲示やチラシの配布などを行っていきたい。</p>	A	<p>■「安心・安全な学校」のために、人権を尊重することが大切である。</p> <p>■いじめについては、学校側が事例を把握してオープンにしているので、引き続き適切に対応して欲しい。</p> <p>■今ストレスがたまっていることが多い状況だとは思いますが、生徒の心のケアを少しずつして欲しい。</p> <p>■以前あった食堂もなくなって久しいため、売店等の導入を検討してほしい。</p> <p>■パン等の移動販売について、ぜひ検討をお願いしたい。</p>
重点目標以外で評価を求めたい項目		91.9	83.5	A	<p>■コロナ禍の中、緊急連絡に加え、部活動大会結果や各種行事イベントの様子など日々の教育活動について、ホームページや三高メール、Classiを利用した情報発信に心掛けた。紙媒体による発信方法についても検討を加えていきたい。</p>	A	<p>■学校全体はいい雰囲気だと感じている。</p> <p>■コロナ禍により台湾研修旅行の実施は難しいかも知れないが、生徒には“泊まる”という経験をさせてやりたいと思う。</p>